

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和元年度 第2回入間市健康福祉センター運営協議会
開 催 日 時	令和元年11月13日(水) 午後7時00分 開会・午後8時15分 閉会
開 催 場 所	入間市健康福祉センター3階 301・302会議室
議 長 氏 名	入間市健康福祉センター運営協議会会長 諸井 和江
出席委員(者)氏名	愛甲たみ子 委員 今井 英雄 委員 岩崎 廣司 委員 臼井 秀 委員 金子 明美 委員 齋藤 勝久 委員 坂本 嘉久 委員 佐藤 啓吾 委員 高橋恵美子 委員 寺師 良樹 委員 橋本 英子 委員 藤牧 利昭 委員 諸井 和江 委員 柳 辰男 委員 山本 寛 委員
欠席委員(者)氏名	なし
説明者の職氏名	健康推進部長 宮岡 実 健康推進部次長 近藤 健司 地域保健課長 須田美菜子 地域保健課 主幹 根本 章 地域保健課 主幹 吉川真奈美 地域保健課 主査 正木 紀子 地域保健課 主任 今藤 明子 地域保健課 主任 野口 早紀
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 入間市歯と口腔の健康づくり基本計画について (2) その他 4 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	資料1 入間市歯と口腔の健康づくり基本計画報告書(案) 資料2 平成30年度歯科保健事業実績 資料3 「入間市歯と口腔の健康づくり基本計画」に対するご意見と 対応 資料4 報告書(案)第3章修正版
事務局職員職氏名	健康管理課長 石原 健二 健康管理課 主幹 吉田 智博 健康管理課 主事 橋本 翔太
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### 1 議 題

##### (1) 入間市歯と口腔の健康づくり基本計画について

「入間市歯と口腔の健康づくり基本計画報告書(案)」、「平成30年度歯科保健事業実績」、「入間市歯と口腔の健康づくり基本計画」に対するご意見と対応及び「報告書(案)第3章修正版」について説明した。

##### (2) その他

事務局より次回の協議会の日程について報告した。

## 会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
司会 (健康管理課主幹)	開会 (省略)
諸井会長	会長あいさつ (省略)
議長	<p>本日の出席委員は 14 名です。委員の半数以上が出席されていますので、会議は成立します。会議録の署名委員は今井委員にお願いします。</p> <p>それでは議事に入ります。入間市歯と口腔の健康づくり基本計画について、事務局より説明願います。</p>
地域保健課主幹	<p>資料 1、資料 2、資料 3、資料 4 について説明を行う</p> <p>事前に委員からいただいた資料 1 に対する意見に対しては、資料 3 に基づいて対応を説明した。</p> <p>1 ページ 1 番目、入間市歯と口腔の健康づくり基本計画報告書をどのような人が読み、活用されることを想定しているのか。また、報告書にはキャッチフレーズやコラムを記載していないのはなぜか。また、各ステージの課題や個人・地域・市等の取り組みが明記されていないのはなぜかとの意見です。この報告書は現在の入間市歯と口腔の健康づくり基本計画を延長するにあたり、過去 5 年間の取り組みと評価を報告するものです。また、今後は取組内容について関係機関や関係各課へ発信、周知するために活用します。キャッチフレーズ、コラム、各ステージの課題や個人・地域等の取り組みについては、現在の計画を踏襲するため明記していません。</p> <p>2 番目、資料 1 の各ライフステージの「1. 目標値の現状と新たな目標値」には、達成度に対する考察 (原因・理由) が必要なのではないかとの意見です。こちらについては考察を追加記載します。</p> <p>3 番目、資料 1 の各ライフステージの項目が「1. 目標値の現状と新たな目標値」だけだが、2 として「これまでの取り組みと今後の取り組み」が必要ではないかとの意見です。表記の仕方については見直します。</p> <p>4 番目、資料 1 の各ライフステージの「今後の取り組み」の内容、記述が全体的に抽象的で方法、手段等の具体的内容がないとの意見です。こちらについては、現在の入間市歯と口腔の健康づくり基本計画を踏襲するため、このような内容としましたが、次回の計画策定時には検討いたします。</p> <p>5 番目、資料 1 の 9 ページ「中学生が学校の歯科健診で指摘されたこと」でむし歯が 51.8%となっているが、どのような状況なのか。2019 年 8 月 19 日の日本教育新聞に「石川県内 4 割の学校に『口腔崩壊』」の記事が載っている。市内の中学校はどうなっているのかとの意見です。入間市歯と口腔の健康づくり実態調査では 51.8%でした。これは、「お子さんが、学校の歯科健診で次のことを指摘されたことがありますか」という設問に対し、過去の歯科健診も含め指摘された経験と捉えた可能性もあ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>りますので、今回は設問の内容を再考します。令和元年の学校歯科健康診断の結果、「むし歯のある者の人数割合」は 34.5%という状況であります。</p> <p>口腔崩壊については、学校歯科健康診断結果において「未処置歯を8本以上保有する人数」は、中学生 3,608 人のうち、16 人が該当しており、割合としては0.4%です。</p> <p>2 ページ 1 番目、資料 1 の 11 ページ「歯や口のことで気になること」のグラフについて、3 段目の「朝、口の中が粘る、口臭、歯が長く見える、歯ぐきがむずがゆい、噛むと痛い、歯ぐきから膿が出る、歯がぐらつく」が1つのまとまりになっており、症状が多く、まとまりが無いとの意見です。こちらについては歯周病の初期から重度までに該当する項目を列記しております。いずれかの項目に該当した場合、「歯周病を有する人」として国と比較するため、前回同様の項目になっています。ただ、項目を見やすくし、その項目が歯肉炎や歯周病の症状であると分かりやすくするため※印をつけ、注釈を追記します。</p> <p>同ページ 2 番目、資料 1 の 14 ページ「歯の本数」のグラフの数字がどの部分を指すのか分かりにくいとの意見です。グラフの数字については見やすくなるよう工夫します。</p> <p>同ページ 3 番目、資料 1 の 15 ページに記載の「フレイル対策基準該当者」、「フレイルの予防」は、注釈か説明が必要ではないとの意見です。こちらについては資料 4 修正版 13 ページのとおり、フレイルに関する注釈を記載します。</p> <p>これから申し上げる意見については、資料への記載が間に合わなかったため口頭での回答となります。</p> <p>資料 1 の 2 ページ、「めざす姿」について、「いつまでも健康な口で、食べる喜びをかみしめよう」を「口」だけでなく、「歯」も入れて「歯と口」としたらいかがでしょうかとの意見です。こちらについては入間市歯と口腔の健康づくり基本計画の報告書のため、計画中身を踏襲しています。</p> <p>同 4 ページ、「目標値の達成状況」について、表の B の「内訳」欄の高齢期（再）の意味は何かとの意見です。こちらは、第 3 次健康いるま 21 計画で調査した平成 29 年 12 月の市民健康実態調査において成人期と高齢期をまとめて成人期として調査し、その結果をそのまま記載しており、目標項目・調査結果が同様のため（再掲）としましたが、わかりづらいため、（再）は削除します。</p> <p>同 4 ページ、「今後の優先的な目標課題」について、C・Dだけでなく、A・Bも継続維持として入れたらどうかとの意見です。当然、A・Bも継続維持しますが、C・Dにおいては優先的な課題として取り組んでいく方向です。</p> <p>同 5 ページ、「ライフステージ別の目標達成状況結果」について、表の</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>目標項目の内、学齢期に高校生が入っていないが、同資料 2 ページの対象別ライフステージの学齢期には「高校生を含む」とあるがとの意見です。こちらについては、入間市歯と口腔の健康づくり基本計画の報告書のため、計画の中身は踏襲しています。しかしながら、現状把握するため高校生に調査した結果として、修正版 4 ページに、「小・中・高校生の歯磨きの回数」をグラフで掲載しました。</p> <p>同 8 ページ、「学齢期 (6～18 歳ごろ)」の「1. 目標値の現状と新たな目標値」について、表の項目の中に高校生が入っていないが、高校生も No. 6 として入れるべきでは。また、目標値の設定根拠はとの意見です。こちらについては「入間市歯と口腔の健康づくり基本計画」の報告書のため、計画の中身を踏襲しています。目標値の設定基準は、国の目標値を参考にしていますが、平成 26 年度の計画策定時の目標値が、すでに国の目標値を上回っている場合は、現状値以上または以下としています。</p> <p>同 9 ページ、「中学 1 年生の健全歯のみの割合」について、他の項目では「小学生」「中学生」との記載だが、なぜこのグラフだけ中学 1 年生を取り上げたかとの意見です。こちらについては「入間市歯と口腔の健康づくり基本計画」の報告書のため、計画中身を踏襲しています。また、国の目標に「12 歳児でう蝕のない者の増加」が掲げられているため、「中学 1 年生」を取りあげました。</p> <p>同 10 ページ、「成人期 (19～64 歳ごろ)」の「1. 目標値の現状と新たな目標値」について、表の現状値について、同資料の 6 ページ、16 ページでは R1 年度だったが、10 ページ、13 ページでは H29 年度で表示されているとの意見です。こちらについて成人期以上においては、「第 3 次健康いるま 21 計画」で調査した平成 29 年度 12 月の市民健康実態調査の結果を参考にしていますので、その調査年度を記載しています。</p> <p>同 16 ページ、「障害者・介護が必要な高齢者等」の「1. 目標値の現状と新たな目標値」について、目標値・現状値が 100% で設定されているがその基準の根拠はとの意見です。こちらについては平成 26 年度の計画策定の時点ですでに 100% だったため、現状維持とし、100% と設定しました。</p> <p>同 18 ページ、歯と口腔の健康づくり実態調査概要の (2) 回収状況等について、学齢期の回収率 59.3% は学校を通して実施しているのになぜこんなに低いのか。大切な時期でもあるので学校側の理解をすすめるべきと思うがとの意見です。こちらについては、今後も学校や関係機関と連携し、理解を深めていただけるよう努めます。</p> <p>最後に、「学齢期 (6～18 歳ごろ)」のデータを見て父母の指導がとても大切であること、また、家族ぐるみの取り組みを継続し、習慣づけることが重要だと思います。そのために今まで取り組んできたことを続けていくことがより大切で効果が出るのではないかと思います。また、フッ素については「良い」ことは周知されていますが、予防医療として幼少期全員</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>が受けられるようになればいいと考えますとの意見をいただきました。こちらについては計画に反映させていただきます。</p> <p>ただいまの「入間市歯と口腔の健康づくり基本計画について」についての事務局からの説明について、ご質疑、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p>
今井委員	<p>資料 4 の修正版 13 ページにフレイル説明用語があるが分かりにくいと思います。インターネット上では「加齢により心身が老い衰えた状態」等分かりやすい説明がされています。一般的に分かりやすい表記にすべきではないでしょうか。同じく資料 4 修正版では「成人期」と表記しているが、資料 2 では「成人期・一般」と表記しているのはなぜですか。また、入間市歯と口腔の健康づくり基本計画に記載されているキャラクター等については、現計画の計画期間を延長するもので計画内容は踏襲するものだから報告書には明記しないようだが、お茶の殺菌作用、口臭予防もうたっており、市の PR にもなるので掲載すべきではないでしょうか。</p>
地域保健課主幹	<p>フレイルの説明用語は簡潔で分かりやすい説明書きにするよう再考します。成人期の表記ですが、資料 2 については職員が日常業務で使用する言葉を載せたもので、報告書には資料 1 及び資料 4 それぞれの 10 ページのとおり成人期を用います。また、キャラクター等については再掲載する方向で検討します。</p>
岩崎委員	<p>実態調査アンケートの結果を見ると、毎食食べていない人の割合が増えており、食事に関する課題も見取れます。今後の市の他部署における事業にも活かしてほしい。</p>
地域保健課主幹	<p>食育推進協議会などの関連する事業において活用を検討していきます。</p>
柳委員	<p>中学生の口腔崩壊については、入間市は 0.4%と低いとのことですが、これは学校歯科健康診断において未処置歯を 8 本以上保有する中学生の比率です。そもそも未処置歯を 8 本以上としている根拠は何ですか。</p>
地域保健課主幹	<p>未処置歯を 8 本以上としているのは、埼玉県の調査の設問事項を引用しています。</p>
坂本委員	<p>成人の歯は 28 本あり、80 歳で 20 本以上の歯を保つ 8020（ハチマルニマル）運動との差で 8 本としているのだらうと思います。</p>
愛甲委員	<p>歯肉炎を有する中学生がいることに驚きました。一方、健全歯は多くギ</p>

発 言 者	発 言 内 容
地域保健課主幹	<p>ヤップを感じますが、今後の具体的な取り組みについて、この会議での検討となるのでしょうか。</p> <p>この協議会は諮問機関なので具体的な取組は検討しません。事業の個別具体的な取り組みは、関係機関、専門職等で検討していくこととなります。</p>
金子委員	<p>資料 4 の 14 ページ、障害者・介護が必要な高齢者等の数値について、施設入所者を対象としているため現状値が 100%なのは理解できます。在宅の障害者等の現状はどうなっていますか。</p>
坂本委員	<p>現状把握できていません。施設等団体に所属していない方の把握漏れがあります。</p>
愛甲委員	<p>介護者に委ねられている現状もあります。必要を感じていても、歯科に結びつかないケースもあります。</p>
地域保健課主幹	<p>国や県にも問合せましたが、施設入所や団体に加入していない障害者の方などが、どのくらい居るのか把握できないのが現状であり、全体像が掴めないことから計画としては国に合わせて施設入所者に限っております。</p>
佐藤委員	<p>資料 1 の 2 ページ、めざす姿の「健康な口」を歯と口腔の健康づくり基本計画なのだから「健康な歯と口」に変更できないのでしょうか。</p>
坂本委員	<p>「健康な歯と口」という表記にすると、歯がない人は見捨てる計画とも読めてしまいます。歯がない人も見捨てない方針にすると最初の計画策定の際に決まりましたので、歯がない人も含めての表記としました。</p>
地域保健課主幹	<p>ただいまのご意見については、この計画を策定するときにも議論となりました。結果として歯の無い方も含めた計画ということで「健康な口」となりました。</p>
齋藤委員	<p>資料 1 及び資料 4 の各ライフステージの「目標値の現状と新たな目標値」について、達成度 A の項目の新たな目標値について、具体的な数値が入っているものと、現状値以上としている 2 種類があるのはなぜですか。</p>
地域保健課主幹	<p>計画策定時の目標値は達成したが、国の目標値には達していないものは国の目標値を具体的に記載しました。既に国の目標値を超えているものは「現状値以上」としています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>それでは「その他」を議題といたします。委員の皆様から何かございますか。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>なければ、事務局から連絡事項等ありますか。</p>
健康管理課長	<p>次回の会議ですが、次回は令和2年3月24日(火)午後7時から同じく301・302会議室で開催を予定しています。</p>
議長	<p>これで議題は終了しましたので、議長を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
柳副会長	<p>閉会あいさつ(省略)</p>
司会(健康管理課主幹)	<p>これで令和元年度第2回健康福祉センター運営協議会を終了いたします。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和元年12月24日

議 長 の 署 名 \_\_\_\_\_ 諸井 和江 \_\_\_\_\_

議長が指名した者の署名 \_\_\_\_\_ 今井 英雄 \_\_\_\_\_